て、町の財政は厳しいと考えるのか。

宮本町長 幌延町は、職員が知恵を絞り、少しでも有利な補助制度や事業を進めてきた。お陰で事業量の割には財政上問題なく運営されていると思う。

今後は、ソフト面での町民の要請にも対応したい。

佐々木委員 現在、町内の集会施設では、百名規模の集会が可能な施設は2箇所で、その内、国際交流施設に関しては、宗教、政治活動が制限されている。

他の施設も土・日曜日の使用ができない状況だが、使用緩和が可能なのか伺いたい。

飯田主幹 原子力機構が所有する施設は、幌延国際交流施設に限らず、政治活動や宗教活動に利用できない。

鈴木課長 農村環境改善センターについては、以前の条例改正の際に、土・日曜日の利用はできないことになっている。また、集会施設機能を果たせるような施設ではないと認識している。

特別会計

幌延町立診療所特別会計

西澤委員 町立病院から診療所に替わって国からの交付金はどの様になるのか。

瀬戸課長 経過措置ということで、25年度まで今までの金額が継続される。その後は3診療所合わせて1億円程度の交付税を見込んでいる。

無量谷委員 出張医の派遣はどの様な形なのか。

岩川事務長 木曜日から日曜日にかけて旭川医大から4名程度の医師が輪番制の様な形で1名ずつ派遣されている。

幌延町下水道事業特別会計予算

佐々木委員 個別排水槽の整備事業の負担金はどの様になっているのか。今後も継続して行くのか。

渡部主幹 国からの補助金は入っていない。町単独で起債を借りて実施をしている。今後も希望が有れば継続して実施をする形は執っている。

常任委員会報告

■総務文教常任委員会

平成24年2月24日

◎調査事項

(1)町立病院エレベーター設置事業に係る電源立地地域対策交付金の国庫返還

①23年10月の診療所開設に伴い不要となったエレベーターについて、補助金等に係る予算の施行の適正化に関する法律により、国庫返還とする。

残存期間の10年6ヶ月分2千7百72万8千円を返還。

(2)24年度一般会計ほか6会計の概要

○国及び地方財政の概要

・日本再生の5つの分野

①東日本大震災からの復興

②経済分野のフロンティアの開拓

③分厚い中間層の復活

④農林漁業の再生

⑤エネルギー・環境政策の再設計

これらを中心に地域主権改革を推進し、既存予算の見直しを行う。

○我が町の方針

①本町は地方交付税に大きく依存する状況にあることから財政の健全化に向けた取組みを着実に進める。

②行政改革の理念に則り、歳出全般を見直す。

③消費的経費の徹底した見直し

④投資的経費は酪農業の振興や、まちづくり基本方針に沿って選択と集中を実行。

（町政執行方針より）

(3)問寒別生涯学習センター耐震診断業務

①耐震診断業務委託業者

・北電総合設計株式会社

・23年7月26日～24年1月20日

・委託金額　3百67万5千円

②耐震補強（案）

・方杖・ブレースによる補強概算工事費9千8百44万円

③今後の方針

・耐用年数38年に対し36年経過しているが、耐震改修を行っても耐用年数は延びない。よって、生涯学習センターを新築する決断をした。

・問寒別分遣所はすでに建設すると決めているので学習センターとの併設が可能か今後の基本構想の中で検討する。

問寒別生涯学習センター

■産業厚生常任委員会

平成24年2月24日

◎調査事項

(1)橋梁長寿命化修繕計画の事業実施について

①計画の概要

損傷の程度に応じた維持管理や補修計画を策定し、25年度より10年をかけ、概ね36橋梁（40％）を修繕する。

②計画の実施

重要度の高い路線で、橋長1百m以上など劣化状況に応じ優先的に行う。更に、供用年数に応じ劣化予測し